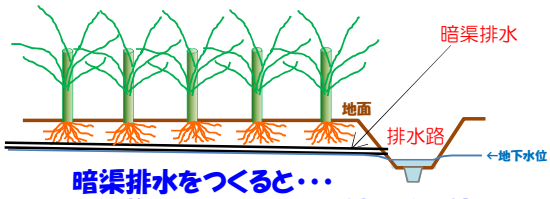
暗渠排水工事

土の中の余分な水を排水する

☆植物は水が無いと育ちません。でも畑が「水浸し」でもも育ちません。（※稲は違います）

☆大きな農作業機械は重たいため、ぬかるんだ畑の上を走ると土がつぶれてしまいます。

雨が降ると地面が水浸し
→空気が無いので・・・根っこは息ができない
⇒根っこが育たないと作物も育たない・・・



暗渠排水をつくると・・・
雨が降っても余分な水は排水路へ流れる
→空気があるので・・・根っこは息ができる
⇒根っこが元気だと、作物も元気に育つ！

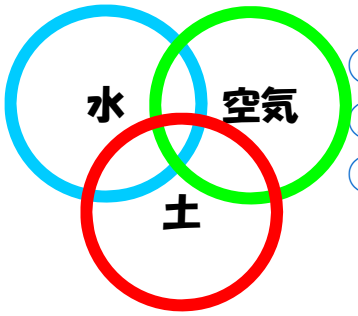
暗渠排水の横断面のかたち

表土（厚さ25cmくらい）
＜作物の根が育つ場所＞

管のまわりは木の破片（チップ）や砂利などを埋めて水が流れやすい断面にします

管を埋めて余分な水を集めて排水します

畑で野菜が元気に育つには表土の「水」「空気」「土」のバランスが必要です



①植物は根から水と一緒に養分を吸収します。
②根が呼吸するためには、土のスキマに空気も必要です。
③畑の表土に適度な水と空気（スキマ）があることにより、畑の表土の温度や微生物環境も大変良くなり、ふかふかな土づくりができ、作物の根も元気に育ちます。

土壌間隙（どじょうかんげき）（スキマ）の量とバランスが大事
- ・太いスキマ → 水はけを良くし、表土に空気を入れる［排水］
- ・細いスキマ → 水分を保ち、根の養分の吸収を助ける［保水］

作物が元気に育つため、また、農作業機械が入るために早く乾くようにしたい・・・
そこで、水が溜まり易い場所に、水が流れやすくするための「管」を土の中に埋めて余分な水を排水できる仕組みを造ります。それが「暗渠排水」です！

暗渠排水なし→
「排水不良」
なかなか乾かない

暗渠排水←あり
「排水良好」
余分な水を排除できる

・ぬかるんだまま
・大型機械は入れない

・重たい機械の作業で土が更に練り返し

・左より早く乾いた！
・空気と水のバランスよし

・根が元気に育つ
→作物も元気に育つ